

出題の意図

看護学専攻における健康支援学分野では、医療機関・地域・学校などで、疾患を持つ人々の治療に不可欠な看護活動・健康な人々に対する予防医学活動を推進するための知識と技術の深化を目指して学修や研究を行うことを掲げており、その地域と医療を結ぶ基盤の一つである地域包括ケアシステムについて「5つの構成要素」と「4つの助」に関する基礎的知識を問う問題を出題した。

また、看護師・保健師・養護教諭のキャリアアップにつながる高い能力を培うことを目標に掲げていることから、設問1・2に関連して地域包括ケアシステムにおける医療機関と在宅医療をつなぐ訪問看護師の役割について、受験者の考えを問う問題を出題した。訪問看護師に従事していない場合でも一般的な知識として他職種に関する情報収集能力の確認と、それに伴う職種に期待される期待感や責任感、倫理観について問う問題とすることで、高度な実践能力の基礎力を確認することを目的とした。

解答例

解答用紙

受験番号

氏名

設問 1 地域包括ケアシステムを構築する「5つの構成要素」を挙げて、それぞれについて説明しなさい。

「構成要素」と説明
医療: 日常的な医療から緊急時の対応までを含み、かかりつけ医や地域の連携病院が相互に連携を図りながら、通院、入院治療を行う。在宅医療、訪問看護、訪問リハビリテーションも利用する。
介護: 在宅系サービスと施設・居住系サービスに分かれ、高齢者が必要に応じて適切なケアを受けられるように構築されている。
予防・保健: 高齢者が健康を維持し、介護が必要になるリスクを減らすための重要な要素であり、要支援・要介護状態にならないための予防、重症化しないための予防、介護状態を軽減するための予防で、生活機能の維持、向上を目指す。
生活支援・福祉サービス: 日常生活を支えるためのサービスで、買い物支援や見守り、配食サービスなどを指し、専門職による支援から家族や近隣住民、NPO 法人、ボランティアなどによる支援まで幅広く含まれる。
住まい: 高齢者が生活の基盤とする場所であり、住み慣れた地域、住みたい地域で、プライバシーと尊厳が十分に保たれた住まいであり、最も基本となる部分で自宅や介護施設などが含まれる。

設問 2 地域包括ケアシステムを支える「4つの助」を挙げて、それぞれについて説明しなさい。

「助」の種類と説明
自助: 高齢者が自身の健康や生活課題を自発的に管理し、自立を支える要素。自分の力で住み慣れた地域で暮らすために、市場サービスを自ら購入する、セルフケアで健康管理する、病気の可能性があれば受診するなど、自発的に自身の生活課題を解決する力のことを指す。
互助: 家族、友人、クラブ活動の仲間など、個人的な関係性を持つ人間同士が助け合う、費用負担が制度的に裏付けられていない自発的な支え合いであり、住民同士の助け合い、自治会などの活動、ボランティア団体による生活支援など幅広い形態が想定されている。
共助: 介護保険や医療保険のような社会保険制度など公的な支援を指し、制度化された相互扶助のことを指す。
公助: 自助、互助、共助では対応できないようなことに対して、最終的に必要な生活保障を行う行政による支援で、生活保護や人権擁護などの社会福祉制度を含む。

設問 3 地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割について、あなたの考えを述べなさい。

・ 訪問看護師に求められる役割には、高齢者が要支援・要介護になっても住み慣れた地域で生活するために、在宅医療・介護現場での看護実践があると考えられる。 ・ 看護師は、医療・介護において豊富な知識と経験を持っているため、医師や歯科医師、薬剤師、介護士、ケアマネジャーなど多職種との連携し、チームの調整役として利用者や家族を支援していく役割を持っていると考えられる。また、医療・介護の両方の視点から、利用者の治療や健康管理、自分らしい生活の実現に向けた関りを期待されていると考えられる。 ・ 高齢化によって要介護者は増加傾向であり、それに伴って家族が介護者になるケースも増加している。加えて、高齢な配偶者が、高齢な要介護である配偶者を介護する老老介護の問題など、介護について誰に頼ればいいのかわからず、相談もできないまま介護者の心身を疲弊させ、トラブルの原因となることもあると考えられる。そのため、訪問看護師は利用者への支援だけではなく、家族の不安や精神的負担の軽減につながる支援やサービスを提供する役割があると考えられる。 ・ 訪問看護師には、自立支援と介護予防の推進も役割としてあり、自分の力で住み慣れた地域で暮らし、病気の可能性があれば自分で病院に通うなど、他者に頼るばかりではなく自分でも問題を解決できるように支援していく必要があると考えられる。そのため、訪問看護師は、利用者ができることを増やし、自信を持って自分らしい生活を送ることができるように、セルフケア指導について、根気強く繰り返しアドバイスを続けることが必要になると考える。
